

## 6月定例教育委員会会議録

1 日 時	令和6年6月4日（火）午後5時30分から午後7時00分まで
2 会 場	磐田市役所西庁舎3階特別会議室
3 出席者	山本敏治教育長、鈴木好美委員、秋元富敏委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員
4 出席職員	鈴木壮一郎教育部長、鈴木雅樹教育総務課長、大學裕学校づくり整備課長、石田和代学校給食課長、森下昌司学校教育課長、天野敏之放課後活動課長、伊東直久中央図書館長、神谷英雄文化財課長、清水大輔幼稚園保育園課長 (傍聴人0人)

(進行委員：大橋弘和委員)

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ・教育長報告

改めましてこんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

令和6年度も2か月が過ぎようとしています。今年度は、新型コロナウイルス感染症による学校運営への影響もほとんどなく、中学校の修学旅行や運動会、体育大会等の学校行事も計画通り実施できる状況となっています。5月25日には、天候にも恵まれ、市内小学校5・6年生約3,000人がヤマハスタジアムに一堂に会し、J1の舞台上、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦を、様々な方々のサポートをいただきながら、実施することができました。サポートをいただいた全ての皆様に、心より感謝申し上げます。平成23年度にスタートした本事業ですが、今回で13回目の開催となります。メインスタンドから子どもたちの様子を見させていただきましたが、約3,000人の児童が心を一つにして応援している姿は見事でした。試合後、子どもたちの応援があったからこそ逆転することができたという旨の山田選手の報道記事を読ませていただきました。子どもたちの応援が選手を後押ししたのは間違いのないと感じたところです。この取組を通して、一人でも多くの子どもたちが、本事業の目標である「磐田市をふるさととして誇りに思い、将来にわたって愛する気持ちを育む」ことにつながってくれればと願っています。

これらの様々な体験や活動が、子どもたちにとって、新たな気づきや問いにつながり、自らを伸ばし成長させていくきっかけづくりになってくれれば、大変うれしく思います。

5月18日に、磐田市PTA連絡協議会総会がアミューズ豊田ゆやホールで開催され、市長とともに参加をさせていただきました。その中で、磐田市PTA連絡協議会及び単位PTA役員を選考にご苦労されている旨のお話を伺い、各組織や役員の負担軽減等についても、引き続き検討をしていくことの必要性を感じました。総会の中では、PTA役員の皆様方に、磐田市の教育についてご理解をいただきたいという願いから、今年度は、全員に「令和6年度の教育目標と教育長・教育委員から伝えたいこと」のリーフレットを配布しました。教育大綱については、市長からもその思いを伝えていただきました。教育が大きく変わるこの時期に、保護者の皆様方に伝えたい内容は多く、教育大綱の他に、市長からは、トイレの洋式化、制服について、私からは部活動の地域移行、探究的な学びについて話をさせていただきました。

今年度は、一人でも多くの保護者や市民の皆様方に磐田の教育について理解をしていただけるよう、磐田市がどのような教育を進めていくのか、そのために具体的にどのような取組みをしているのか、していくのか等について、保護者、市民目線で、より親しみやすく分かりやすい資料の作成に取り組み始めました。今後、教育総務課を中心に作成を進めて参りますので、それぞれのお立場からご意見等をいただければ幸いです。

最後に、この後の報告事項で課長から報告があるかと思いますが、5月13日に、「SPO☆CUL IWATA」の開始式を、ボクシング、バドミントン、剣道、サッカー、弦楽の5つの種目のクラブ代表者の方にご参加いただき、開催することができました。磐田市にとっては、記念すべき日となりました。

た。今年度はさらに5種目程度の種目が「SPO☆CUL IWATA」として活動を開始する予定となっています。地域クラブ活動運営に携わってくださる方々には、感謝の気持ちで一杯です。地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら、子どもたち一人一人のニーズに応じたそして持続可能な「SPO☆CUL IWATA」をめざして、取り組んでいきたいと考えています。

それでは、本日はどうぞよろしくお願いたします。

### 3 前回議事録の承認

4月26日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

### 4 教育部長報告

<質疑・意見>

なし

### 5 議事

#### ・議案第33号 令和5年度磐田市教育委員会の自己点検及び評価について

○この報告書は、令和6年3月11日に実施した自己点検・評価会における教育長や教育委員の皆様と、外部有識者の静岡大学島田先生の意見を踏まえ、とりまとめたものです。

はじめに、「Ⅰ 点検評価の趣旨」は、教育委員自らが活動を振り返り、自己点検及び評価により、活動の改善を図ることなどが主な趣旨となります。「Ⅱ 点検・評価の対象及び方法」ですが、【項目1】については、達成度をA B C Dの4段階で評価し、【項目2】については、実施内容に関する点検を行っています。

【項目1】教育委員会の活動の達成度・評価は、一覧のとおりです。達成度は、6項目中5項目がAで、1項目がBとなっています。【1-4】「教育委員会と市長事務局との連携」は、補助執行機関とのつながりや話し合いがもう少し必要という点で、達成度をBとしていますが、総合教育会議の回数を増やし、市長部局との連携を深めている点は評価をしています。

【項目2】は、令和5年度の教育委員会の議案と協議事項を項目ごとに取りまとめたものです。

総合評価は、令和4年度の意見への対応、令和5年度の振り返り、令和6年度の活動方針と取り組みについて、要点を整理したものです。

最後に、静岡大学の島田先生からいただいた意見です。学校運営協議会に教育委員が積極的に参加し、意見を述べる機会がある点や、総合教育会議において建設的な意見交換がなされているとともに、改善策がとられている点が評価されました。

今後の改善については、一般教員への教育施策の浸透をはかるため、一般教員が教育施策の本質を理解する工夫の検討が必要である点、補助執行している事務について「こども施策」として展開していくために、補助執行している部署と協議をする機会の検討が必要である点をご示唆いただきました。

この点検・評価報告書は、「磐田の教育」へ掲載し、全議員へ配布するとともに、正副議長へ概要を説明する予定です。

<質疑・意見>

○B評価させていただいたところも、どちらかと言えばA評価でよかったかなと思いましたが、あえて課題として見える化をしてB評価としました。また、補助執行していただいている関係各課の特に今取り組んでいることや、この先どう取り組んでいくのかなどの課題や今後の方向性等をより理解できるといいという意見が、自己評価会の中でも出ました。また情報共有や意見交換ができるといいと思っていますので、あわせてよろしくお願いたします。あとは島田先生が書いてくださいましたように、施策の浸透が市民や保護者だけでなく一般の先生方にももう少し必要というところもあって、例えばタブレットで動画にして見てもらうとかアイデアをいただきながら、先生方にも今の教育の転換期の中でどのような取組がこれから必要なのかというところを発信していければいいと思っています。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 33 号は原案どおり承認された。

・議案第34号 令和6年度磐田市一般会計補正予算第4号（教育費関係）の要求について

○歳入から説明します。15款2項7目「教育費 国庫補助金」は、デジタル田園都市国家構想交付金の交付決定に伴う増額分であり、小中学校の探究的な学び教材政策の財源として活用します。その他は、一般財源で対応するものです。

歳出を説明します。10款1項3目「単独調理場等学校給食施設管理事業」は、調理員の派遣に要する経費の増額分となります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 34 号は原案どおり承認された。

・議案第35号 令和5年度向陽学府小中一体校建設工事（建築）請負契約の締結について

・議案第36号 令和5年度向陽学府小中一体校建設工事（電気設備）請負契約の締結について

・議案第37号 令和5年度向陽学府小中一体校建設工事（給排水衛生設備）請負契約の締結について

○議案第35号から議案第37号までの3議案について、関連がありますので一括して説明いたします。

この議案は、向陽学府一体校建設工事を開始するにあたり、市議会に必要工事の契約締結承認を求めるものです。資料記載の「本体建築工事」「電気設備工事」「給排水衛生設備工事」について、3月に入札後、仮契約を締結していますが、いずれも議決に付すべき金額であるため、6月市議会に上程し、本契約としていくものですので、ご承認いただきますようお願いいたします。それぞれの工事金額と業者は記載のとおりです。もう一本、空調設備工事の契約があるのですが、のちほど報告事項で説明させていただきます。

<質疑・意見>

■空調設備の工事まで含めると総額いくらになりますか。

□今回の議会で承認をお願いする契約金額につきましては、空調設備まで含めると約 46 億円になります。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 35 号、議案第 36 号、議案第 37 号は原案どおり承認された。

・議案第38号 園医の委嘱について

○磐田市立幼稚園管理規則第17条に基づき園医を委嘱するもので、本年5月1日からの市立竜洋幼稚園の内科医の変更となります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 38 号は原案どおり承認された。

・議案第39号 磐田市立学校給食運営委員会委員の委嘱又は任命について

○磐田市学校給食条例第8条の規定に基づき、学校給食の適正かつ円滑な運営を図るために設置をしているもので、教育委員会が委嘱又は任命する、と規定されています。

委員の任期は2年で、令和5年度に12名の委員に委嘱、任命いたしました。今年度において、名簿の備考欄に「新任」と記載してあります。PTAの代表者4名、保健所の職員1名、学校長及び

園長の代表者2名の、合わせて7名の方が異動等により変更となりましたので、この方々を新たに委員として委嘱、任命をするものです。

また、任期につきましては、前任者の残任期間である令和7年6月30日までとなります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第39号は原案どおり承認された。

・**議案第40号 磐田市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱又は任命について**

○磐田市立小・中学校通学区域審議会条例第3条第2項の規定に基づいて委嘱又は任命されるものです。今回は2名の方が新規で、合わせて12名の方をお願いします。任期は令和6年6月1日から令和7年5月31日までです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第40号は原案どおり承認された。

・**議案第41号 学校医の委嘱について**

○竜洋地区で山崎医院の晃様から息子の哲様に代わることになりました。竜洋幼稚園と同じ方です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第41号は原案どおり承認された。

・**議案第42号 磐田市立図書館協議会委員の委嘱について**

○磐田市立図書館条例の規定に基づき、磐田市立図書館協議会を置くことされており、委員の任期は2年で昨年更新をかけましたが、そのうちの3名が異動等により委員を離れ、新たに3名に委員をお願いするものです。新任となられるのは、学校教育関係の2名と議会から選出いただいている1名で、任期は令和7年5月31日までです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第42号は原案どおり承認された。

## 6 報告事項

### (1) 自治デザイン課

<質疑・意見>

なし

### (2) スポーツのまち推進課

<質疑・意見>

なし

### (3) 文化振興課

<質疑・意見>

なし

### (4) 福祉政策課

<質疑・意見>

なし

### (5) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

■保護者との意見交換会が4園で行われますが、その内容はどのようなものですか。

□幼児教育・保育推進計画を策定し、その中で園の再編についても掲げています。園児数の減少や園舎の老朽化が進んでいる園については、統合や再築について保護者と意見交換するとしていますので、それを今年度から開始するという事です。まずは年少児童が数人にまで減少した園と近隣の園の保護者からご意見をお聴きして、検討を進めていきたいと考えています。

■4園以外の園での意見交換会の予定はありますか。

□4園以外でも幼稚園卒の園児数は減少傾向にあります。一方で保育園卒の園児数は横ばいで、保育ニーズは高い状況が続いています。この保育ニーズに対応していくには、幼稚園を保育園卒のあるこども園にしていく必要があると考えています。それには職員の増員が必要ですが、保育士の確保は難しい現状であるため、民営化や統合等によってどのくらい人員を確保できるのかを考えていく必要があります。こども園化については総合的に検討していきながら、時期を見て、4園以外の園の保護者にもご意見をお聴きしていきたいと考えています。

### (6) 教育総務課

・令和6年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

○5月1日時点の令和5年度及び令和6年度の認定者数は資料に記載のとおりです。参考としまして、下段には認定世帯のうち、一人親世帯の割合を掲載しております。低所得の一人親世帯の増加等により、年々就学援助対象者数は増えているような傾向にあります。特に、コロナ禍もありまして令和2年度は、収入減少した家庭からの申請が増加した経緯があります。当面は増加傾向が続くのではないかと見込んでいます。引き続き、支援が必要な方へ制度が行き渡るよう、家庭の実態把握や情報提供に努めていきたいと考えているところです。

<質疑・意見>

なし

### (7) 学校づくり整備課

・向陽学府小中一体校建設工事（空気調和設備）について

○空調設備工事について、先の議案の3本とともに6月議会に上程予定でしたが、仮契約している業者が2020年に東京都での贈収賄事件に関係しており、今年4月に東京都から指名停止となりました。続いて5月に静岡県と磐田市も指名停止措置を講じたことを受けて、仮契約を解除するべきであると判断し、現在、再入札で新たな業者を選定する準備を進めているところです。

業者が変更になる影響ですが、議決時期が遅れば他の工事とスタートがずれますので、全体工程上の手間はかかりますが、工事全体に遅れが出ることはありません。とはいうものの、大きな工事で先々何が起きるかわかりませんので、6月議会に追加上程し、工事のスタートを揃えて円滑に進めたいと考えています。事後報告になり申し訳ありませんが、詳細は改めて報告させていただきます。

<質疑・意見>

なし

## (8) 学校給食課

○ジュビロ磐田応援給食提供を市内5校で実施いたしました。テレビや新聞報道も入りましたので、子ども達の応援にも更に力が入ったことかと思えます。今年度は5校でしたが来年度は市内全校で実施するよう計画していきます。

プロポーザルについて、去る5月27日及び6月3日の2日に、大原学校給食センター、富士見小学校、竜洋東小学校、竜洋中学校の調理業務委託業者のプロポーザルを行い、どちらも2事業者から提案がありました。3か所は継続、1か所は新規の事業者が最優秀企画提案者となり、今後市長決済を経てホームページに掲載し正式に決定していきます。

<質疑・意見>

■1か所で変更になったのはなぜですか。

□今回のプロポーザルについては、小学校と中学校の3か所同時に行い、どこの学校も2社が提案をしてくださいました。2社とも甲乙つけがたいものがあり、委員の皆様も拮抗した結果でそれほど差はないですが、若干良かった方になりました。どこも既の実績のある業者さんですので、安心してお任せしたいと考えております。

## (9) 学校教育課

<質疑・意見>

■実施事業の予定の6月26日ふるさと教師塾（特別）ではどのようなことをしますか。

□教員採用試験の二次試験の面接対策をしています。

■実施済事業の心の教室相談員研修会ではどのようなことをしますか。

□心の教室相談員さんは、教室に行けないような子どもたちへの対応をされていますから、よりよい対応のあり方等について、研修をしています。

■心の教室相談員は何人いますか。

□市内中学校全校と小学校に15人います。

■実施済事業の探究的な学び研究会は1年に何回行われる予定ですか。また、実施事業の予定に探究的な学び研修会とありますが、これは探究的な学び研究会の皆様は研修会なのか、補正予算で記載のあった探究的な学び教材制作との関連も教えてください。

□探究的な学び研修会は、研修主任などが対象の研修会です。探究的な学び研究会は、もう少し対象を絞ったメンバーでやっていくものです。今、学校が抱えている課題等を解決していくにあたって、授業改善を含めて非常に大事なところですので、我々としては厚くやっていきたいところです。

□補足します。探究的な学び研究会は、大学の有識者の方、企業の方、校長や校内で総合的な学習の主任をやっている方々で構成されていて、去年は5学府の代表が出ていただいたので、今年度は別の5学府の方に出ていただいて、学府の中で広げてもらいたいという願いの中で、当研究会の位置づけをしています。年間2回ですが、間に総合的な学習の担当者の方々を集めて推進委員会を3回くらい実施する予定で、全体会と推進委員会を分けながらやっています。

予算との関係ですが、7月17日の探究的な学び研修会では、大学の先生の講義を聞き、デジタル教材を使って、いわゆる仮想空間の中で、例えば市役所の仮想空間に入って行って、環境課というところに行ったら、ここでどのような勉強ができるのかなというような、「はてなタグ」というものを、ここでこんな学びができるのではないかと、こんなはてなが出るのではないかとということを教員が自ら入って行って想定して作っていく。そういった活動をして、子どもたちがそれを使ったときにどういう問いを持つかという、あらかじめの学びを深めていくような、より学校で有効活用してもらえるような手立てを体験してもらおう。または、そのはてなを子どもたちがつけたものを見られるようになると、子どもにフィットしたはてながあれば、その学びを子どもたちが突き詰めていくような、そういう入り口を作ろうとするような研修会を、7月に予定しています。各校の研修主任もしくは総合の主任がいらっしゃる、いわゆる全校集めてやる研修会で、とにかく先生方に広げていく、どういう働きかけをしていくかというところが肝です。

○すばらしい取組で、こういうことが1番大事だと思います。回数を増やしたり予算を付けたり研修に行ってもらったりということで活発な会議を運営していただいて、その成果をまた、子どもたちに

与えていただければと思います。

### (10) 放課後活動課

○放課後児童クラブ運営業務プロポーザルを、5月31日にワークピア磐田で行いました。阿部委員、児童クラブの主任支援員、その他庁内の部課長級職員の計7名の選定委員で選定委員会を行いまして、参加表明業者は6者でした。4ブロックに分ける形で行いましたので、6者のうち4者を選び、かつ各者の希望に沿った形でブロックを決定しました。現在決裁中ですので、決裁後、市のホームページ等で情報の公開をします。関連しまして、今年の夏休み増設クラブは9クラブを予定していきまして、そのうちの4クラブは今回決定した業者が運営します。かつ、昼食の提供も今回試験導入的に加えますので、初めての形になりますが、早速委託運営を実施していきます。同時に、令和7年度からの運営業務の委託準備契約を結びまして、来年3月末までに民間委託の準備も同時にしていただき、支援員の確保、調整、また本課との実際の運営上に関わる業務なども行っていくという方法で進めたいと思っています。以上につきましては、次回7月の定例教育委員会にて詳細を状況報告させていただきます。

- ・磐田市立中学校部活動指導員の配置（追加）について
- ・磐田市立中学校部活動外部指導者の委嘱（追加）について

○部活動指導員と外部指導者については、それぞれ追加がありました。

- ・磐田市地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」の実施状況について

○4月募集を開始した6クラブの参加人数はトータルで約20名で、合唱については残念ながらまだ参加がなかったため、保留中になっています。

7月開始予定は4クラブ、吹奏楽については9月からの開始予定で、現在募集をしている最中です。今日時点での状況では、吹奏楽については予約的な扱いになりますが5名、プログラミングは2名、ダンスは9名、将棋は6名、空手は0名です。もうしばらく募集の状況を見て、7月の開始をしていきたいと思っています。

- ・磐田市立中学校の部活動加入者数調査について

○令和6年度の加入状況は表のとおりです。なお、磐田スポーツ部活の陸上競技部については57名、ラグビー部は52名です。部活加入率は運動部については61.1%で、平成28年から統計を取っていますが、年々減少傾向が続いています。外部活動については、例年どおり10%ほどですが少し増えてきています。昨年度の外部活動は20種目でしたが、今年度は32種目に増えており、子どもたちの多様化傾向が顕著に表れているところは、全国調査などでも同じ傾向です。学校部活は任意ではありますが、未加入者も10%ほどと増えてきていて、人数としては459人です。SPO☆CUL IWATAが誕生した中、子どもたちには文化・スポーツなど何らかの活動ができる場を作っていきたいと強く思っているところです。

また、学校部活動の中では、豊田中の女子バスケットボール部は今年の新入生が0名、豊岡中の女子バレーボール部は昨年度に休廃部の方針を出したため今年度の1年生は0名で、今の3年生がこの夏の活動が終わると、自動的に豊岡中の女子バレーボール部は休部もしくは廃部の状態になるという形です。平成28年からの流れの中で、10校で運動部105部活を続けてきましたが、初めて休部という状況が出てきたところを強く捉えています。また、向陽中の女子バレーボール部は新生1名、柔道部は3校各校とも新生1名という状況で、やはり少数のところがあります。合同チーム、合同部活動という取組を、これから再編の中で加速化していきますので、こういった種目の中で活動している子どもがいるのであれば、何らかの形でできる環境を整えていきたいと思っています。いずれにしろ、そのような状況を踏まえてやっていけたらと捉えています。

＜質疑・意見＞

■外部活動率10.2%というところで、昨年度の20種目から今年度32種目に増加したということですが、これにはSPO☆CUL IWATAも含まれていますか。

□先に入部を希望した子については含まれている数字だと思いますが、4月末の仮入部を終えてからの5月の集計なので、その段階でまだ入っていない子は含まれていないというところで若干の誤差があります。

## (11) 中央図書館

○竜洋図書館親子おはなし会&楽器工場見学を実施します。竜洋図書館ではこれまで外部の企業と協力しながら事業を進めることはありませんでしたが、今年度初めて、(株)河合楽器さんと協力してイベントを打って、楽譜関連の所蔵が多いところを上手にPRできるといいということで、竜洋図書館の職員が企画をしております。

### ・令和5年度 資料点検結果について

○令和5年度資料点検結果ということで、令和5年度末の所蔵数は表のとおりです。不明資料の館別内訳の福田竜洋豊岡の3館については、ほぼ1年前の数字です。それぞれの図書館の蔵書点検の時期にずれがありまして、福田竜洋豊岡は例年5月末から6月に実施をしているため、5年度と4年度にさほど差がありません。特徴的なのが、中央図書館は令和5年度の末に蔵書点検しており、急激に不明図書の数が減っていますが、これは昨年の6月からICタグを導入した影響が如実に出ているのであろうと分析をしています。福田竜洋豊岡図書館については今まさしく点検が終わったところと、今やっている最中のところと、この辺の結果も見ると、さらにICタグ導入の効果が見てとれるのではないかと分析をしています。

#### <質疑・意見>

■竜洋図書館の資料点数が令和5年度末に10%くらい減っていますが、何かありましたか。

□ここ数年かけて取り組んでいることですが、毎年の購入点数が約2万点まで届かないくらい増える一方で、書庫が慢性的にいっぱいな状態で、それに影響されて書棚も本がみっちり入っている状態がこの数年前まででした。そこを何とか改善するために、まずは閉架書庫の古いもの汚れたもの重複しているものを、どんどん廃棄しています。入ってくるものよりも出た数が多いという表れです。

## (12) 文化財課

#### <質疑・意見>

■文化庁調査官史跡実地調査では、何をしたか教えてください。

□特段指導はありませんでしたが、小野調査官が前回令和4年度に見られた後に国分寺のいろいろな復元の整備ができたものですから、今の進捗状況を見ていただきました。新豊院については今年度の予算で地質調査、詳細設計を予定していますが、令和3年に崖面が崩れているため対策を進めているところで、できれば来年以降その工事等に入っていきたいということで、補助金等のお願いや相談のため現地を見ていただきました。銚子塚については、国の史跡で今後保存活用計画等も作る必要があるため、現状を見ていただきました。

■埋蔵文化財センターの土日の来館者数はどのくらいですか。

□令和4年度は約1,100人くらいだったのが令和5年度は2,000人くらいということで、元々の数が少ないこともありますが、倍くらいに増えました。土日によってまだばらつきがあり、先週やこの土日でいえば、土曜日は0人ですが日曜日は20人ということがありました。そこについては、展示のリニューアルや案内看板を作るなど、集客できるような取組をしていますが、やはり博物館施設ではないものですから、限界もあるところです。

## 7 協議事項

### ・令和6年度磐田市教育委員会の自己点検及び評価における目標設定について

○本年度の教育委員会の自己点検及び評価における目標設定についてです。議案第33号の、「令和5年度の自己点検及び評価」に基づき、静岡大学の島田先生や教育委員からのご意見を踏まえて設定しましたので、主な内容について、ご説明いたします。

はじめに、項目「1-1 教育委員会会議の運営改善」ですが、学校訪問や各種研修へ参加し、地域課題を捉えることに努め、会議において積極的に提言を行い、教育委員会における審議の活性化を進めていきます。

次に、「1-2 教育委員会の情報発信」ですが、あらゆる機会において、本市教育理念や教育施策を市民へ発信していきます。また、「ホームページの充実」については、今後継続して取り組んでいく必要があると考えます。

次に、「1-3の教育委員会と事務局との関係」ですが、引き続き、教育委員会開催1週間前に会議資料を確認し、会議におけるチェック機能の充実を図っていきます。

次に、「1-4 教育委員会と市長事務局との連携」ですが、総合教育会議の開催充実を求めるなどして、補助執行機関を含む市長事務局と課題を共有し、協働的に課題の解決を進めていきます。

次に、「1-5 教育委員の研修活動」ですが、引き続き、研修会等への参加を継続していきますが、増加する不登校児童生徒対策について、視察、研修等により情報収集を行い研究していきたいと思えます。

次に、「1-6 学校及び教育施設に対する支援・条件整備」ですが、学校訪問や学校運営協議会で得た意見を集約、精査して、学習環境の整備を進めていきたいと思えます。

<質疑・意見>

○少し気になっているのは、1-1の「教育委員会における審議の活性化」と、1-6の「教育施設の充実」が両方とも学校訪問や学校運営協議会で意見を聞き取ってという内容になっているところです。確かにそのとおりだと思いますが、1-1はそれ以外にも、教育委員会における審議の活性化という意味では、先進地域視察とか文部科学省研修とか、我々が得られる情報は他にもあると思うので、そういうところで得た情報なども含めて審議を活性化して、学校訪問、運営協議会だけではなく、他にも膨らませた方がいいのかなと思えました。

○様々な情報を仕入れ、それを元に審議をより充実させていくという形で、そのような意識を持っていただくということで、よろしくお願ひします。

## 8 その他

### ・「関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（茨城大会）」参加報告

○5月31日に関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会に参加しました。文部科学省からの行政説明があり、不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業という予算が10億円ありますが、予算が余っているので二次募集もしているということでした。また、いじめ対策不登校支援総合推進事業も二次募集をしていて、心の相談室をつくるような話だと思いますが、設置前でも良いですし、設置が延びても設置できなくても良いので、どんどん応募してくださいという話がありました。

また、近くの席に座っていた方と話しましたが、神奈川県の方はPTAがやはり機能していないということでした。私たちはその代わりに運営協議会や自治会員を主体にしたような活動を考えなくてはいけないと思っていますが、自治会はどうですかと質問をしたところ、自治会も機能していないということで、例えばマンションに住んでいると自治会に入らない方もすごく多いので、地域性もとてもありますという話をしました。

新潟県燕市の方とお話したときには、やはり統合をすることの難しさの話をなさっていました。

富士市の方は、学府というものをやっているのですよねと言ってくださいました。統合なども視野に入れてのこともありますよねという話をしました。

## 9 次回の開催予定

### ・定例教育委員会

日時：令和6年7月18日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

### ・臨時教育委員会

日時：令和6年7月23日（火） 午前9時00分から

会場：市役所西庁舎3階 教育長室

## 10 閉会